

## シンポジウム

# 国立自然史博物館をふくしまに！

東北と関東の接点にあり、独特で多様な動植物と美しい景観をもつふくしま。東日本大震災により、この豊かな自然環境が壊され汚染されました。復興と再生に向けてのシナリオの中に、破壊され傷ついた自然をいかにして回復するか、新たな人と自然との関係をいかにして再構築するかが問われています。もし、国立自然史博物館を本県に誘致することができるなら、ふくしまの復興と再生にかかわる大きな拠点となるでしょう。シンポジウムでは、ふくしまに国立自然史博物館を作ることの意義を語り合い、アピールしたいと考えます。

日時：平成27年6月4日（木）13:00～16:30（開場12:20）

会場：福島テルサ（福島市上町） FT ホール

どなたでもご自由に参加できます（聴講無料 申込不要）

## プログラム

13:00 主催者挨拶 櫻村利道（福島大学名誉教授）

### ○第1部

13:10～13:40 基調講演 岸本健雄（東京工業大学名誉教授）

「国立自然史博物館の設立に向けた日本学術会議における活動」

13:40～14:50 ふくしまに国立自然史博物館を作る意義を語る

馬渡駿介（北海道大学名誉教授）

黒沢高秀（福島大学理工学類教授）

稲葉 修（南相馬市博物館学芸員）

弦間一郎（ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団事務局長）

14:50～15:00 休憩

### ○第2部

15:00～16:30 パネルディスカッション

司会 赤坂憲雄（福島県立博物館館長）

パネラー 櫻村利道

演者のみなさん



東日本大震災の被災地に咲き誇る準絶滅危惧種  
ミズアオイ

主催：福島県自然史博物館設立推進協議会

協力：東北大学総合学術博物館

お問い合わせ先：

福島県自然史博物館設立推進協議会事務局

TEL 024-548-7120 090-2996-1569



福島テルサ 福島市上町4番25号 TEL 024-521-1500

福島駅より徒歩10分 専用駐車場2ヶ所（2時間まで無料）